BackTrack® シリーズ

パイロットガイド

LINE 6®

40-00-0273　　エレクトロフォニック限定版は、@ www.line6.com/manuals から入手できます　　改訂 A

登録して無料製品を入手

BackTrack には、購入を登録するための手軽な郵便料金支払い済みの葉書が付いています。すぐにそのカードに記入して郵送していただくか、**www.line6.com/register** からオンラインで登録してもらうことはとても重要です。何か問題が起きたときのための保障サービスが設定され、Line 6 All Access が提供するすべての物をお楽しみいただけます。

LINE 6 ALL ACCESS

今すぐ登録して、特別オファー、コンテスト、ソフトウェアアップデータ、その他色々へアクセス!



www.line6.com/manuals

オンラインマニュアルアーカイブで BackTrack を選択してもらうことで、アドバンスドガイドのダウンロードに加え、この
パイロットガイドの更新がリリースされた場合にすぐに更新版が入手できます。

安全上のご注意を良くお読みください。
この取扱説明書は大切に保管してください。

BackTrack をご使用になる前に、この操作説明および安全のための提案の該当する項目をよくお読みください。

1. BackTrack パイロットガイドにある、すべての警告を遵守してください。
2. BackTrack パイロットガイドに記載されている以上のサービス操作は行わないでください。以下のような障害が本機に起きた場合には、修理が必要です。
    - 本機に液体をこぼした場合または内部に異物が入った場合。
    - 本機が雨または水分に晒された場合。
    - 本機が通常に動作しないまたは性能に明らかな違いが出てきた場合。
    - 本機を落下させたり、エンクロージャが損傷した場合。
4. ラジエーター、ヒートレジスターやその他熱を発する機器の近くには置かないでください。
5. デバイスに物や液体が入らないようにしてください。水の近くで使用したり、置いたりしないでください。
6. コードを踏まないでください。コードの上に物を置いて、コードが挟まったり寄りかかったりしないようにしてください。コードのプラグ側とデバイスに接続している部分には、特に注意してください。
7. 電池の寿命を延ばすために、ある程度使用しない場合は、スイッチを OFF にしてギターケーブルを抜いてください。
8. お手入れには湿った布をお使いください。
9. 必ず指定された付属品を使ってください。
10. 大音量で長時間試聴すると難聴や聴力障害を起こすことがあります。常に「安全な音量で使用」することを心がけてください。

この機器は、試験の結果 FCC 規定のパート 15 のクラス B デジタルデバイスに準拠していることが確認されています。操作は以下の 2 条件を前提としています。(1)このデバイスは有害な障害を発生させず、(2)このデバイスは好ましくない動作を発生させる障害なども含む、どのような障害も受け入れます。

BackTrack へようこそ

BackTrack は、音楽的なひらめきの瞬間を、録音の準備をすることなく、キャプチャして再生することを簡単にしてくれます。

BackTrack は、あなたの演奏すべてを連続してフラッシュメモリーにキャプチャします。あなたの演奏の開始と終了を感知し、個別のオーディオイベントとして、音楽的な瞬間を自動的に分割してくれます。

このことで、保存して後で聴きなおしたい個別のイベントをマークすることを簡単にしてくれます。このような瞬間が訪れたら、MARK ボタンを押すことで BackTrack は、この瞬間を保存する必要のある重要な瞬間としてマークします。再生ボタンを押すと、このイベントが再生され、ひらめきを瞬時に再生してくれます。

また、その他のマークされたイベントもすべて簡単に選択できます。再生は繰り返すことができ、特定のイベントを繰り返し聴きながら、そこに被せるサウンドをジャムすることができます。また、BackTrack のメモリーに保存してあるオーディオすべてを聴きなおすこともでき、最近の演奏でマークしていなかったけれどももう一度聴きなおしたいものがないかを確認できます。

BackTrack をお使いのコンピュータに接続すると、すべてのオーディオイベントを個別の .WAV ファイルとしてアクセスできます。マークされたイベントの MARKED フォルダと、マークされていないイベントの UNMARKED フォルダがそれぞれあります。マークされたファイルは、コンピュータに接続したときに消去されない限り、BackTrack により削除されることはありません。マークされていないファイルは、新しいオーディオイベントのために容量が必要になった場合に、BackTrack を使って削除することができます。

ファイルのコピーをコンピュータ上に作り、ひらめきのライブラリを作ったり、CD を焼いたり、MP3 にコンバートしてあなたのファンや共作者たちと共有してください。お好みのオーディオソフトウェアで再生したり、録音ソフトウェアにロードして、あなたのひらめきを完全にレコーディングする基礎としてください。

また、その他の .WAV ファイルを BackTrack の USER フォルダにコピーして、コンピュータ以外での再生を楽しむこともできます。

付属しているソフトウェアを使って、オーディオをキャプチャするのに使う品質の設定を選択できます。BackTrack は、CD 標準の 44.1 kHz、16 ビット品質に加え、48 kHz、24 ビットまでをサポートしています。録音容量を増やすには、低い設定を選択し、高いオーディオ品質を得るには、高い設定を選択します。（詳細は、9 および 10 ページを参照）

更なる多様性を持たせるために、BackTrack には以下の機能が含まれています。

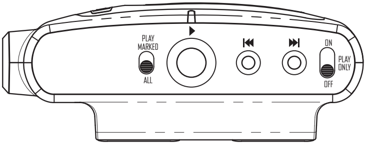
- スイッチを PLAY ONLY に切り替えるだけで、自動キャプチャを停止します。
- 強制キャプチャを使うことで、BackTrack を通常の録音デバイスとして、予定された録音ができます。（4 ページを参照）

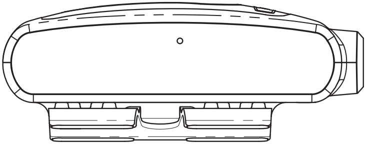
もっと情報が要りますか?ページをめくって、その他の「隠れた」機能を表す を探してください。

サイドパネルおよび接続

BACKTRACK

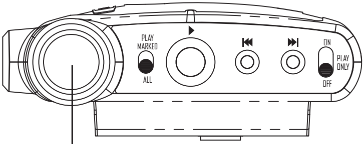
• マイクまたはステレオ出力無し

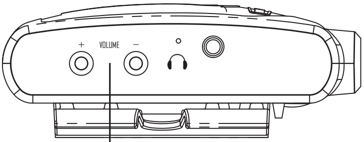




BACKTRACK+MIC

• マイクおよびステレオ出力を含む





マイクロホン

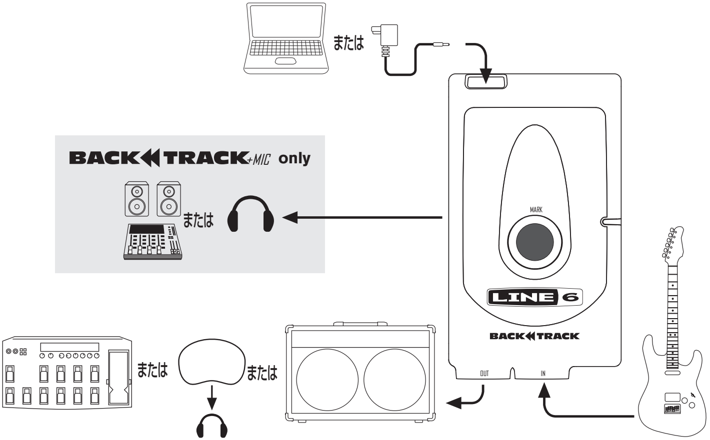
ステレオ／ヘッドホン出力

• 音量調整は、この出力のみ影響します。
• このジャックは、マイクに加え **IN** ジャックでキャプチャしたオーディを再生します。
• ステレオ／ヘッドホンジャックが接続されていると、**OUT** ジャックは無効（オーディオを出力しない）になっています。

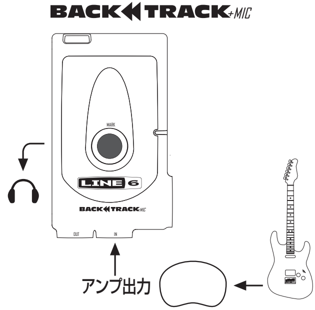
BackTrack + Mic のキャプチャソース

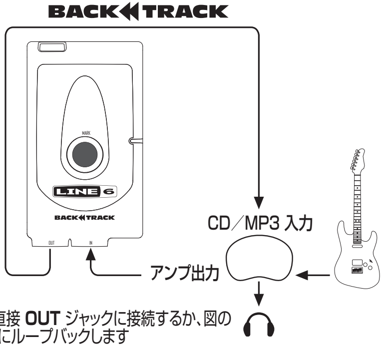
• マイクを使ってオーディオをキャプチャするには **IN** ジャックの接続を外します。
• **IN** ジャックは、接続されている限り、オーディオキャプチャのソースとして使われます。

接続



処理済 POD オーディオを録音および再生する別の接続





ヘッドホンを直接 **OUT** ジャックに接続するか、図のように POD にループバックします

オーディオのキャプチャ

ギター入力からの自動キャプチャを準備する

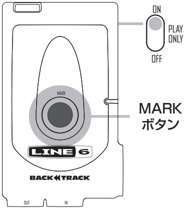
- エレキ、アコースティックまたはベースギターを **IN** ジャックに接続します。

Prepare to auto capture from mic (supported by BackTrack + MIC only)

- **IN ジャックには接続しないでください**(接続をすると、マイクではなくジャックが入力ソースとして使われます)。
- 注記:部屋の中のその他の騒音(テレビなど)により、イベントの自動区別が正確にできなくなるかもしれません。

演奏を続けながら BackTrack に音楽イベントのキャプチャ特別をさせる

- OFF/PLAY ONLY/ON スイッチを **ON** に設定:起動中はライトが白く点灯します。
- ライトが青く点滅すると、BackTrack はキャプチャの用意ができました。
- 音楽を演奏します。
- オーディオイベントをキャプチャしている間は、ライトが点灯しています(詳細は、8 ページを参照)。
- オーディイベントの最後を感知したら、ライトが数回すばやく点滅します。
- 最後のイベントを「とっておきたい」場合、**MARK** ボタンを押してマークします。



自動キャプチャ設定の設定

- BackTrack を USB を介してコンピュータに接続し、BackTrack Setup Utility ソフトウェアを開始します。
- 自動キャプチャを、ギターとマイク入力のそれぞれで個別に有効/無効に設定できます。
- 自動キャプチャで使う設定を、ギターとマイク入力のそれぞれで個別に調整できます。

強制キャプチャ

- エレキ、アコースティックまたはベースギターを **IN** ジャックに接続します。
- または、マイクをキャプチャソース(BackTrack + MIC のみ)として使う場合は、IN ジャックに接続しません。
- **(再生)**を押しながら、**MARK** を押します。
- 赤いライトは新しくマークされたイベントを強制的にキャプチャしていることを示しています。
- イベントを終了するには、**MARK** を押します。

マイクレベルの調整

- BackTrack Setup Utility ソフトウェアは、キャプチャ音量を含むマイクキャプチャ設定の微調整を可能にします。
- 一時的にオーディオキャプチャ音量を増加させるには、**(再生)**を押したままヘッドホン音量**+**を押します。
- 一時的にオーディオキャプチャ音量を減少させるには、**(再生)**を押したままヘッドホン音量**ー**を押します。
- BackTrack + Mic の電源を切ると、この一時的なマイクキャプチャ音量の調整はクリアされます。
- BackTrack Setup Utility を使って自動ゲインコントロール(AGC)も有効/無効に設定できます。

オーディオの再生

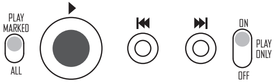
再生をする準備をする

- ギターの出力から直接キャプチャしたオーディオの場合、**OUT** ジャックを直接お使いのアンプ、POD、その他ストンプボックスなどに、ギターを接続するのと同じ設定でその他のストンプボックスの前に接続します。
- または、**(ヘッドホン出力)**をヘッドホンまたはフルレンジアンプ／スピーカーシステム(ギターアンプではない)に接続して再生を視聴します。マイクから録音した場合、この方法が推奨設定になります。

マークされたイベントだけまたはすべてのオーディオを再生するかの選択

- マークされたイベントだけを再生するには、PLAY MARKED/ALL を **PLAY MARKED** に設定します。
- マークされたおよびされていないものを含むすべてのオーディオを再生するには、PLAY MARKED/ALL を **ALL** に設定します。

再生するオーディオイベントの選択



- 最近のオーディオイベントを再生するには **(再生)**を押します。
- 再生を現在のイベントの最初に戻すには **(戻る)**を一度押します。
- 前のイベントを再生するには **(戻る)**を繰り返し押します。
- 最初のイベントで **(戻る)**を押すと最後のイベントを再生します。
- 次のイベントを再生するには **(次に)**を押します。
- 最後のイベントで **(次に)**を押すと最初のイベントを再生します。

繰り返し再生

- BackTrack Setup Utility ソフトウェアは、繰り返し再生を有効または無効に設定できます。
- 有効にした場合、再生中にイベントの最後になったとき、すぐにまた再生を始めます。
- 一時的に繰り返し再生を有効／無効にするには、**(再生)**を押しながら　または　を押します。
- BackTrack の電源を切ると、一時的な繰り返し再生の有効／無効はクリアされます。

オーディオ再生を新しくマークされたイベントとしてキャプチャ

- オーディオを再生中に、**MARK** を押したままにし、再生中のオーディオのコピーを新しいマークされたイベントとしてキャプチャします。
- イベントを終了するときは、**MARK** を放します。
- 新しくコピーし、マークされたオーディオイベントを再生するには、**(再生)**を押します。

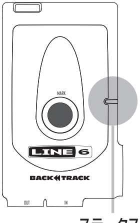
ステータスライト

色の付いたステータスライト

• BackTrack のライトの色が、現在の動作のタイプまたはステータスを表しています。

Off の状態での充電またはコンピュータにマウント中

• スイッチが **OFF** の状態または USB を介してコンピュータに接続されており、オーディオのキャプチャまたは再生が利用できない時。
• この状態での充電中は、充電率を以下の色で表しています。
• 赤(0～25%充電)、オレンジ(25～50%)、黄色(50～75%)、緑(75～100%)、白(完全充電)



ステータス
ライト

白:起動中／終了中／使用中

• 起動中および終了中は、ライトが白く点灯します。
• 使用中で他の機能が使用できないときは、ライトが白く点滅します。

青:自動キャプチャ

• キャプチャの用意ができているが、まだキャプチャしていない状態では、濃い青で点滅します。
• 十分な長さがある場合にキャプチャできるオーディオを感知している場合は、濃い青で点灯します。
• オーディオが十分な長さで、キャプチャを続けている場合は、薄い青で点灯します。
• キャプチャイベントが終了したことを、薄い青で数回すばやく点滅して知らせます。

赤:強制キャプチャまたはマイクのクリッピング

• 強制キャプチャ(5 ページを参照)または再生を新しいマークされたイベントとしてキャプチャ(6 ページを参照)している場合は、赤く点灯します。
• キャプチャが終了したことを、ライトが数回すばやく点滅して知らせます。
• マイクキャプチャ中は、クリッピング(あまりにも大音量のオーディオ)が起きた場合に、ライトが赤く点灯します。

緑:再生

• 再生中は緑に点灯し、Play Only モードの場合は、演奏中以外は緑で点滅します。
• 繰り返し再生が有効な場合、再生している間は明るい緑から濃い緑の間を行ったりきたりします。

紫:低メモリー

• 時折紫に点滅した場合、メモリーが 30 分以下になったことを示し、2 回点滅をした場合、メモリーが 15 分以下になったことを示します。

黄色:低電池

• 時折黄色に点滅した場合、電池の充電が少なくなっている(約 1 時間以内の動作)ことを示しています。
• 電池が完全になくなる前に、ライトは黄色から赤に変わり、すばやい点滅をします。

コンピュータ

コンピュータへの接続

- BackTrack を USB ジャックを介してコンピュータに接続すると、自動的に充電を始め、大容量デバイス（コンピュータ上に CD-ROM やフラッシュドライブなどと同様に表示）としてマウントされます。
- マウントされている間は、オーディオキャプチャや再生などの通常の BackTrack の操作は無効になっています。
- Windows® からマウント解除するには、画面のシステムトレイにある「ハードウェアの安全な取り外し」をクリックし、「BackTrack を安全に取り外します」を選択します。これでうまいくいかない場合、Backup Setup Utility を終了し、すべてのファイルを閉じてから、USB を取り外してマウント解除します。
- Mac® からマウント解除するには、BackTrack アイコンをゴミ箱までドラッグします（ゴミ箱アイコン上にドラッグするとイジェクトアイコンに変わります）。

BackTrack Setup Utility

- Windows の場合、コンピュータに BackTrack をマウントしたときに利用可能になるインストーラを起動して BackTrack Setup Utility をインストールします。
- Mac の場合、ディスクイメージ（.dmg）ファイルをダブルクリックするとディスクイメージがマウントしますので、その中にある BackTrack Setup Utility を Applications フォルダまたはコンピュータ上の別の場所にドラッグすることでインストールできます。
- BackTrack で作成したファイルが正確に日時情報をもてるように、ユーティリティソフトウェアを使って日時を設定します。

ファイル

- BackTrack は、オーディオを .WAV ファイルとして保存します。
- BackTrack **MARKED** フォルダ／ディレクトリに、すべてのマークされたオーディオが保存されています。
- BackTrack **UNMARKED** フォルダ／ディレクトリに、その他のマークされていないキャプチャされたオーディオが保存されています。
- **MARKED** または **UNMARKED** にあるオーディオファイルのどれでも、ドラッグすることでコンピュータにコピーバックアップできます。
- これらのオーディオファイルをダブルクリックすることで、デフォルトのオーディオプレーヤーソフトウェアで再生できます。
- BackTrack でその他の .WAV ファイルを再生するには、**USER** フォルダ／ディレクトリにだけコピーしてください。
- **UNMARKED** フォルダ／ディレクトリに保存されているファイルは、BackTrack により、通常の操作で削除できます。
- **MARKED** フォルダ／ディレクトリに保存されているファイルは、BackTrack により、通常の操作では絶対に削除できません。
- BackTrack は、以下の正しくフォーマットされているモノラルまたはステレオの .WAV ファイルを再生できます。
  - 16 または 24 ビットの長さを持つ。
  - 11、22、32、44.1 または 48 kHz のサンプルレートを持つ。
- **BackTrack は、.mp3、.m4p、.AIFF、圧縮された、または上記のオプションに合致しない .WAV ファイルは再生できません。**

ファイルの消去

- 追加のオーディオキャプチャができるように空き容量を増やすために BackTrack がコンピュータにマウントされている間にファイルの消去ができます。
- まず、恒久的にこれらのファイルを失わないように、コンピュータにコピーします。
- ユーティリティソフトウェアのインストールが終了すれば、これらのファイルを BackTrack から削除して、オーディオの容量を最大化できます。

BackTrack Setup Utility

1:Record/Playback Settings

- サンプルレートとビット深度を下げることで、録音可能時間が長くなり、設定を上げると、品質が向上します。
- 可能な設定は、12 ページを参照してください。
- 最大録音可能容量は、選択されたレート／深度の設定により変わります。
- チェックボックスにより、繰り返し再生が有効にでき、イベントを再生するときに繰り返します（7 ページ参照）
- **Show files** をクリックすると、BackTrack ディレクトリ／フォルダが Windows® Explorer または Mac® Finder で表示されます。

2:Device Information

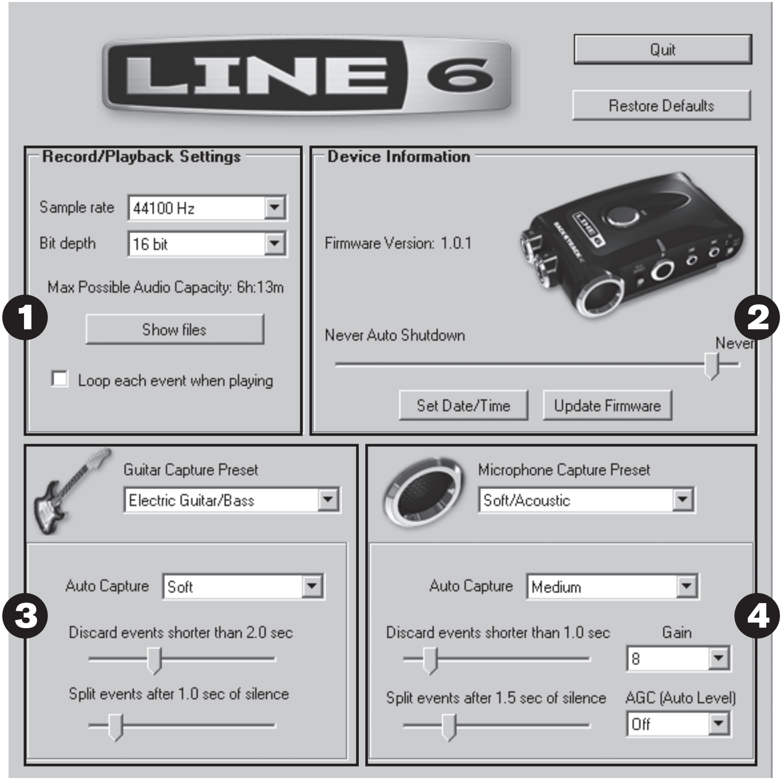
- これがファームウェアのバージョンです。Line 6 カスタマーサポートに連絡するときは、必ずこれを記載してください。
- BackTrack の電源を切り忘れて、何もキャプチャしていない場合に電池の消耗を防ぐ Auto Shutdown を有効にできます。
  - 選択された時間以内にオーディオを感知しないと、BackTrack の電源がオフになり、ライトも消灯します。
  - もう一度 BackTrack を使うには、Off/Play Only/On を **Off** にしてから **On** または **Play Only** にします。
- BackTrack の時計を、コンピュータの日時に合わせるには、Set Date/Time を押します。
  - 画面に表示される指示に従います。
  - こうすることで BackTrack により作成された新しいファイルは、正しい作成日時がコンピュータに表示されます。
- その他の機能の詳細については、www.line6.com/manuals にあるアドバンスドガイドを参照してください。

3:ギターの自動キャプチャ

- **IN** ジャックの自動キャプチャ設定をプリセットで設定します。
- Auto Capture で **Off** を選択すると、**IN** ジャックの自動キャプチャを無効にします。
- Auto Capture で **Soft** を選択すると、低いレベルのオーディオでも自動キャプチャを開始します。
- Auto Capture で **Medium** を選択すると、自動キャプチャを開始するのに中程度のレベルのオーディオが必要になります。
- Auto Capture で **Loud** を選択すると、自動キャプチャを開始するのに高レベルのオーディオが必要になります。
- **Discard events sorter than XXX** 設定よりも短いオーディオイベントはキャプチャされません。
  - 自動キャプチャを行っている間は、この時間が過ぎるまでライトが濃い青になります。
- **Split events after XXX of silence** 設定よりも長くオーディオレベルが Auto Capture レベルよりも低くなったらイベントが終了します。
  - 自動キャプチャを行っている間は、ライトがすばやく点滅してイベントの終了を表します。

4:マイク自動キャプチャ（BackTrack + Mic のみに適用される設定）

- マイクは **IN** ジャックと同様に自動キャプチャするように設定できます。
- ここには、マイクのプリアンプレベルを増加／減少するための **Gain** 設定もあります。
- マイクのプリアンプゲインを、入力するオーディオから自動的に設定させるには、AGC（Auto Level）を有効にします。ただし、この機能により自動キャプチャを行っている間に BackTrack がイベントを分割する機能を弱めるかもしれません。


LINE 6
Quit
Restore Defaults
Record/Playback Settings
Sample rate
44100 Hz
Bit depth
16 bit
Max Possible Audio Capacity: 6h:13m
Show files
Loop each event when playing
Device Information
Firmware Version: 1.0.1
Never Auto Shutdown
Never
Set Date/Time
Update Firmware
Guitar Capture Preset
Electric Guitar/Bass
Auto Capture
Soft
Discard events shorter than 2.0 sec
Split events after 1.0 sec of silence
Microphone Capture Preset
Soft/Acoustic
Auto Capture
Medium
Discard events shorter than 1.0 sec
Gain
8
Split events after 1.5 sec of silence
AGC (Auto Level)
Off
1
2
3
4

電源／容量／トラブルシューティング

内蔵充電池
- 完全充電で 8 時間以上の動作を提供します。
- USB コネクターを介して充電します。
- 使用しないときは、充電を維持するために OFF／PLAY ONLY／ON スイッチを **OFF** の位置にしておきます。

USB を介して電源を供給
- BackTrack には、ミニ B 5 ピン USB コネクターが同梱されています。
- 電源は、コンピュータの USB ジャックまたはミニ USB 充電基準をサポートするパワーアダプターから供給できます。
- 充電地を使わずに連続した使用を可能にし、同時に充電も行います。

容量
- BackTrack Setup Utility ソフトウェアで、サンプルレート、ビット深度およびその他のオーディオキャプチャ設定の選択ができます。

BackTrack + Mic	BackTrack	サンプルレート	ビット深度	注記
24 時間	12 時間	11 kHz	16 ビット	*
12 時間	6 時間	22 kHz	16 ビット	*
8 時間	4 時間	32 kHz	16 ビット	
6 時間	3 時間	44.1 kHz	16 ビット	CD オーディオ標準
5 時間	2.5 時間	48 kHz	16 ビット	
4 時間	2 時間	44.1 kHz	24 ビット	
4 時間	2 時間	48 kHz	24 ビット	

* これらの設定は、マイクのフルレンジオーディオでは推奨されませんが、直接ギター入力の場合は十分かもしれません。

色の付いたライト
- お使いの機器に問題が起きた場合、問題を解決するのに必要な情報を色の連なりとして表示するかもしれません。
- 詳細については、www.line6.com/manuals にあるアドバンスドガイドを参照してください。

音量の高いオーディオは、自動キャプチャ中に連続して録音するかもしれません

自動キャプチャは、音楽イベントの終了を低音量部分を感知して認識します。オーディオが常に高レベルで連続した場合、イベントの終了を感知できずに、連続で録音を続けるかもしれません。このような場合、Backtrack Setup Utility の Auto Capture 値を Loud に設定すると状況を改善するかもしれません。